



防災

いざというときには…

さまざまな自然災害に備えておきましょう

地震や風水害といった自然災害の発生を防ぐことはできません。しかし、日頃から防災意識を高め、きちんと備えておくことで、災害による被害を減らすことができます。また、災害から身を守るために、米沢市防災マップで、指定避難所の確認や情報収集の手段を確認しておきましょう。

非常用持ち出し品



食料品

非常食・水(缶詰やクラッカーなど、火を通さずに食べられるもの。飲料水はペットボトル入りが便利)

生活用品

懐中電灯・携帯ラジオ・予備電池
救急医薬品(傷薬、絆創膏など)・常備薬・お薬手帳(写)
貴重品(通帳・印鑑・現金・保険証・免許証など)
その他(衣類・軍手・マスク・ティッシュなど)

非常用持ち出し品・

備蓄品の準備はできていますか？

非常用持ち出し品は、災害から避難するとき、最初に持ち出すものです。リュックサックなどの持ちやすい状態で準備しておきましょう。非常用備蓄品は、復旧するまでの数日間(最低でも3日間)を支えるものです。用途に合わせて事前に準備しておきましょう。

備蓄品(最低3日分)



食料品

非常食(アルファ化米・レトルトのごはんやおかず、缶詰・インスタントラーメン・お菓子など、簡単な調理で食べられるもの)・飲料水(一人1日3ℓ)

生活用品

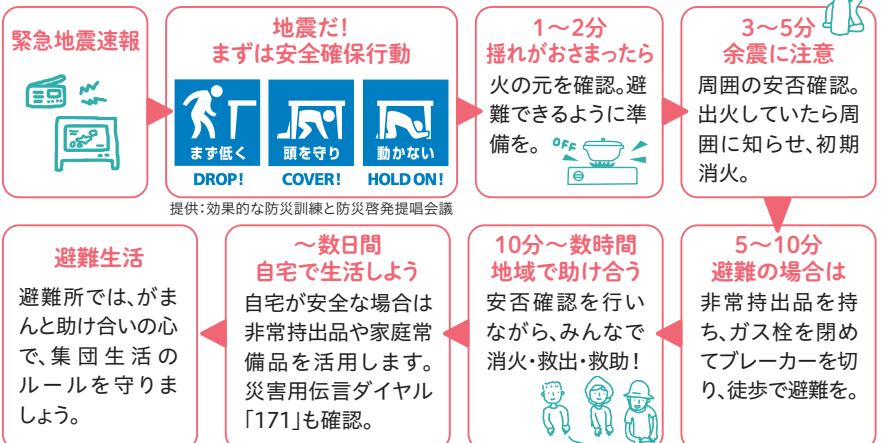
カセットコンロ・予備ボンベ・割り箸・紙食器・ラップ・ウエットティッシュ・トイレトペーパー・洗面用具・ドライシャンプー・タオル・使い捨てカイロ・マスク・ランタン・その他(各家庭(女性・乳幼児)に必要なもの)

地震に備える

家の内・外の安全確認

- 寝室や子ども、高齢者、病人のいる部屋には倒れそうな家具は置かないようにしましょう。
- 耐震金具を利用するなど、家具の転倒や落下を防止する対策を取りましょう。
- 安全に避難できるよう、出入口や通路には物を置かないようにしましょう。
- 平常時から家の周りを確認しましょう。(屋根、外壁、ブロック塀、プロパンガスボンベ、灯油タンクなど)
- 家(建物)の耐震性について、調べてみましょう。
- 初期消火のため、消火器の準備や消火器の使い方についても確認しておきましょう。
- 救急箱の中身を確認しておきましょう。

地震が起きたときのために



風水害(洪水)に備える

天気予報や気象状況に気をつける

梅雨時期や台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意し、天気の変り変わりに気を付けましょう。大雨や洪水などの各注意報・警報はテレビ・ラジオでも流れるため、見落とさないようにしましょう。

また、インターネットや携帯電話サイトを活用すれば、外出先でも情報は入手できます。

米沢市防災マップを活用しましょう

米沢市で発生が想定される洪水・土砂災害などの災害をマップに掲載した防災マップを配布しています。皆さんに迅速な避難行動や被害軽減に役立つ情報を掲載しています。地域(町内会・自主防災組織)や家庭での防災活動や災害時に役に立ててください。

また、避難しなければならぬときは、下記のことに注意して避難してください。



●国土交通省「川の防災情報」
<http://www.river.go.jp>



●山形県「山形県河川・砂防情報」
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/sp/jsp/index.jsp>



●米沢市防災マップ
<https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/5320.html>



いざというときは

1 最新情報の収集を心がけて

テレビやラジオなどで最新の情報を収集しましょう。市からの呼びかけにも注意してください。



2 危険を感じたらすぐに避難

ただし、水の中を歩ける深さの目安は膝下50cmまで。避難が危険な場合は無理せず建物の上層部などで救援を待ちましょう。



3 動きやすい服装で

長靴は水の中で足を取られて危険です。避難する場合は、運動靴を履きましょう。



4 車の移動は控えましょう

車での避難は交通渋滞を招き、緊急活動の妨げとなります。また、車内に浸水すると動けなくなるため、徒歩か公共交通機関で避難しましょう。



5 マンホールに注意しましょう

道路が冠水するとマンホールのふたが外れる場合があります。傘や長い棒を杖にして、足元に注意しながら避難してください。



6 行動はできる限り複数人で

高齢者や子どもなど、災害時に配慮が必要な方の避難に協力しましょう。



家の外の安全確認

大雨や台風にあわせて、家の周りに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や瓦、雨どいなどは傷んでいないかを確認しておきましょう。また、家の前の雨水ますや排水溝が詰まったりしていないかなどの確認も必要です。

●「雨水ます」の清掃

雨水ますの取水口が落ち葉やごみで詰まっていると、道路冠水や浸水の原因になります。

●大雨のときは水の使用を控えて

洗濯や風呂の排水などは、雨が止んでからにしましょう。

●物を置かないで

「雨水ます」や「L型側溝」の上に車乗り入れブロックなど物を置かないよう、ご協力ください。